

夏休み疎開プロジェクト FOR 福島 後日談

3年前の2011年5月16日、岩手県陸前高田市等で、書道イベントを開催。8月6日から1週間、SOITON「夏休み疎開プロジェクト FOR 福島」等で受け入れ家庭を募集し、「福島の子供達向け『夏休み疎開プロジェクト IN 市川』」を行いました。あれから3年経ちましたが、当時の子供達から未だに、時折手紙が届きます。特に感動した手紙を1通、協力して下さったご家庭も含めた皆さんと共有させていただきます。「3月11日、いつものように学校に行きました。大きな地震が来て、机の下へ避難。そして『津波だあ!』の声。外を見ると煙と水しぶき。その時、お母さんを思い出した。お母さん、僕は無事だよ!だからお母さんも無事でいて!夜は全然眠れない。時間が経つのが遅い。お母さんとお婆ちゃんは畑にいて津波に流されて見つからない。早くお母さんに会いたいです。早くお婆ちゃんと一緒に畑に行きたいです。あれから3年経ちました。お母さんに伝えたい事があります。僕は無事だよ。だから会いに来てね。仮設にいると寂しい事もあるけれど、勉強頑張っています。お巡りさんパトロールありがとう。近所の皆さん一緒に遊んでくれてありがとう。お兄さん、習字のイベントで楽しませてくれてありがとう。市川でたくさん遊ばせてくれてありがとう。僕も大人になったら、皆さんにお礼がきちんとしてできるように優しく遅い大人になりたいです。」この3年間は失敗と屈辱だらけの政治家人生でした。この疎開プロジェクトも含めて、ほんの少しの「成し遂げた事」も、遠回りして遠回りしてやっと行き着いた事です。応援してくれる人、市民の人たちにも迷惑かけてばかりで本当に嫌になります。でも、皆さんの力を借りて、ひとりの少年に喜んでもらえた事は誇っても良いのかも知れない…と最近少し思うようになりました。…この切り口でもう少しお伝えしたい事がありますので、次回以降少し違うテーマで改めて述べます。「今できる事」を話し合ってください。個々人の想いが集まれば、良い社会が形成されます。今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ!

平成26年7月25日

増田好秀